

日本語教育（教師、学生）の教材利用・作成にかかわる著作権

教材のコピーを授業内で配付しても良いでしょうか？ 教材動画データをオンライン授業のプラットフォームで配信しても問題ないでしょうか？

意外と知らない、でも今の時代、知らずには済ませられない著作権について、関連領域において第一線でご活躍の専門家、我妻潤子氏をお迎えし、日本語教育、言語教育に携わる皆さんと学びたいと存じます。ぜひご参加ください。

講師 我妻 潤子氏

（株式会社テイクオーバー所属、東京藝術大学非常勤講師）

教材を利用して授業を行う立場で留意すべきこと

国内の大学、日本語学校、海外の組織などでの著作権

2023年3月9日（木）15:00～17:00

ZOOMにて

対象：国内外の日本語教師、ほかの言語の教師、日本語教育学専攻の大学院生、日本語コース関係事務担当者、出版関係者、今回のテーマに関心を持つ方

参加方法：事前申込制（無料）

主な内容

○ 利用者として

市販書籍、インターネットデータの扱い

個人の教師、学習者、そのほかの者の著作物の扱い

○ 自作教材作成者（著作者）として

著作物に付与する利用レベル設定（© や CC-BY を含む）

※ご参加の方には、当日までに、反転学習形態での著作権に関する短い動画（5分程度）を視聴していただきます。申し込み登録の後に、動画 URL をお知らせします。

◆ 参加申し込み方法 ◆

以下のリンク先または QR コードより事前申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/89qzdK3V8BV6ixzU9> （締め切り：3月5日（日）16時）

事前申し込みをされた方に、講演会の前日（3月8日）ZOOM リンクと案内文を送信します。

【オンライン開催時のお願い】

- ・ミーティングルームは開始 10 分前に開室いたします。
- ・入室時の名前表示は「フルネーム+所属」でお願いします。

